

Unity Connection メールストア補足情報

目次

[概要](#)

[各サーバのメッセージの分数](#)

[UC にメールストアを追加するには](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unity Connection (UC) のメールストアに関する補足情報を取り扱い、可能であれば最新のドキュメントを参照します。

各サーバのメッセージの分数

UC サーバがどれほどのメッセージを保持しているか知ることが必要な場合があります。多くの顧客が仮想プラットフォームに移行します。G-711 コーデックの場合のおよそのメッセージストレージ (分単位) に関する詳細は、「[Cisco Unity Connection 9.x でサポートしているプラットフォームの一覧](#)」と題するシスコの記事の、「[現在出荷中の Connection 9.x サーバの仮想プラットフォーム オーバーレイに関する仕様](#)」の項を参照してください。

メディア コンバージェンス サーバ (MCS) を実行していて同様の情報が必要な場合は、「[Cisco Unity Connection 9.x でサポートしているプラットフォームの一覧](#)」と題するシスコの記事の、「[現在出荷中のプラットフォーム オーバーレイ <x> サーバ](#)」、または「[これまでに出荷されたプラットフォーム オーバーレイ <x> サーバ](#)」の項を参照し、お使いのハードウェアをお探しく下さい。

注: このセクションで説明したドキュメントには、「[およそのメッセージストレージ、G-711 コーデック \(分単位 \)](#)」という項目ラベルを持つテーブルデータが含まれており、およそのメッセージストレージが分単位で一覧表示されています。

UC にメールストアを追加するには

UC には最大 5 つのメールストアを設定できます。デフォルトで 1 つ設定されており、あと 4 つ追加できます。追加のメールストアは、パフォーマンスの最適化を目的として作成します。

注: メールストアの追加では、メッセージ容量が増えるのではなく、非常に多くのメールボックスが設定されているサーバのパフォーマンスが最適化されるのだということを理解することが重要です。

1つのメールストア内のユーザ数は、最大 5,000 にすることを推奨します。この推奨事項は、「[Cisco Unity Connection 9.x におけるメールボックスストアの管理](#)」と題するシスコの記事の、「[Cisco Unity Connection 9.x でのメールボックスストアの作成](#)」の項に記載されています。この記事には、追加のメールストアを作成する方法も説明されています。

UC 内に複数のメールストアを設定することについては、「[Cisco Unity Connection 9.x におけるメールボックスストアの管理](#)」と題するシスコの記事の、「[Cisco Unity Connection 9.x における複数のメールボックスストアの動作方法](#)」の項を参照してください。この記事の以下の抜粋部分について、質問が寄せられています。

追加のメールボックスストア データベース。追加されたメールボックスストアに保存されるボイスメッセージの情報のために使用されます。このデータベースは、10,000 人のユーザがそれぞれ平均約 40 件分のメッセージを保存できるサイズ (約 1.25 GB) にあらかじめ設定されています (接続で現在使用されているデータベース アプリケーションでは、作成したデータベースのサイズを動的に変更できません)。

抜粋部分で言及されている 1.25 GB は、テーブル行用に使用され、UC のいずれかの場所に保存されたユーザメッセージに対するマッピングを保存するためのものです。ユーザメッセージの保存に使用されるデータベース サイズではありません。